

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立有功東小学校	貴志 雅代
学校所在地		
〒 6 4 0 - 8 4 8 2 和歌山市六十谷895 tel 0 7 3 (4 6 2) 1 3 2 2 fax 0 7 3 (4 6 2) 3 1 3 9 e-mail isaohigashi@wakayama-wky.ed.jp		
担当者名		役職名・担当教科
中山 義之		教諭
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、和歌山市の北部紀の川と和泉山脈の間に位置しており、地区には子どもたちにも馴染み深い千手川も流れているなど、自然に囲まれた学校である。校内では、コイやカメなど多くの生き物を飼育しており、残念ながら先日亡くなってしまったが、小学校では珍しくヤギも飼育していた。</p> <p>本校では、平成17年より和歌山市の総合的な学習の時間の研究指定を受け、地域の魅力ある「ひと・もの・こと」に積極的にはたらきかけながら、子どもたちが主体的に学習している。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 46名	4名 職員 2名	現地, 教室
実践研究テーマ		
子どもが自らの世界を拓く学習		
実践教科等名	単元名	
社会・国語	わたしたちの世界遺産について学習しよう！	
<p>〔キーワード〕</p> <p>世界遺産学習</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産についての理解を図る。 「参詣道」の魅力を五感を通じて感じる。 		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 12時間 （「わたしたちの世界遺産について学習しよう！」 12時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>和歌山県世界遺産センター …次世代育成事業 世界遺産入門 参詣道保全活動（「道普請」） 和歌山県世界遺産マスター</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行で行った世界遺産を出し合う。 ・ 日本にはどんな世界遺産があるか調べる。 ・ 日本の世界遺産についてまとめる。 (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料として社会科資料集を活用する。 	社会(興味・関心) 世界遺産に興味を持ち、意欲的に調べようとしている。 【行動観察・ノート】
2	世界遺産について話を聞く。(1 時間)	資料として世界遺産リーフレットを配布する。	社会(知識・理解) 世界遺産の種類, 世界遺産登録が始まったいきさつなど基本的なことが分かる。【ノート】
3	中辺路(三軒茶屋～熊野本宮大社)を歩く。 (6 時間)		
4	自分たちが歩いた「道」の魅力をガイドマップにまとめる。(2 時間)	写真を提示し, どんな感想を持ったのか出し合ってからガイドブック作成の活動をする。	国語(書く) 話で聞いた事実と自分の感想を区別し, 下の学年の子が見てもわかるように書いている。
5	国連の働き(ユネスコの活動)を調べる。 (2 時間)	教科書・社会科資料集以外に外務省のホームページから分担金や組織図などの資料を配布する。	社会(知識・理解) 世界のさまざまな国々が人類共通の財産を守るためにお金を出し合っていることやユネスコの仕事についてがわかる。
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>奈良・京都への修学旅行に行き, 全員が世界遺産に出合った状況で学習を始めたことで, 「自分たちの住む和歌山県にも世界遺産があるのか」と興味を持って学習を始められた。そして, 修学旅行から世界遺産入門・現地学習と切れ目なく学習することで, 興味を持続させて学習することにつながっていた。</p> <p>また, 世界遺産入門で視覚的に学ぶことができ, 世界遺産についての基本的なことについてよく理解できていた。</p> <p>課題としては, 授業時数を社会の内容と関連させて扱わざるを得なかったので, 総合的な学習の時間として, 計画した方が学習としては深まると感じる。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
(成果) <ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌山県に対して愛着を持てること。 ・ どこか遠い存在であった「世界遺産」を身近に感じられるようになった。 (課題) <ul style="list-style-type: none"> ・ 一度ふれただけではもったいない。もっと何度も関わることができればいいが。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
改善点はありません。			

様式 2

平成 27 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

10月19日(月)

有功東小学校にて、世界遺産センター仲先生から「世界遺産入門」で話を聞く。



10月22日(木)

世界遺産センターにて早い目の昼食をとり、バスでスタート地点まで送ってもらう。

三軒茶屋からスタートし、途中展望台へ行き、その後道普請を行い、熊野本宮大社までの行程。

子どもたちは、歩きなれない山道に疲れながらも、世界遺産マスターの方の話に耳を傾け世界遺産を満喫することができた。

【子どもの感想】

私たちは、はじめて「熊野古道」を歩きました。山を歩き進めていくとどこまであるのか分からないくらい、自然にかこまれていたのでびっくりしました。その道を進めていくと、がけみたいな所があつてがけから見る景色はすごくきれいでした。きねんの写真もとれてよかったです。

道普請の体験もはじめてしました。土をはこぶのがとてもつらかったです。みんなで協力してリレーみたいに土を運びました。道普請の体験をするまで歩いてきた道はたまにガタガタで石がとび出している所もあったのでこうして土をうめてきれいな新しい道をつくれればもっとたくさんの方が来るとし、歩きやすくなると思ったので、土をうめる作業がんばれることが出来、土をすべてうめることが出来ました。熊野古道を歩くのも道普請の体験もすごくいい経験になりました。



すごく長く歩いたし、道ぶしんをするために砂を運んだりするのは大変だったけれど、世界遺産の保護のお手伝いできて良かったです。

京都や奈良で見た世界遺産は、お寺が多かったけれど、熊野古道は神社もあるけれど、山の中を通っている道やその周りの景観が世界遺産として登録されているから、他の世界遺産とは少し違うと思います。私たちが住んでいる地域からは、少し遠いけれど、和歌山県にある世界遺産としてこれからも大切にしていけないと思います。

世界遺産が私たちの住んでいる県にあるということはとてもいいことだと思います。私たちの住んでいる県にあることを誇りに思ってこれからももっと熊野古道のことをよく知り、大切にしていけないと思います。



熊野古道に行って自然だらけで「ザ・山」って感じでした。山道はすごくつかれました。けど上の方できれいな景色が見れてよかったです。道を直すことができてとてもうれしかったです。天皇さまが通っていたところをみんなで通れてすごくうれしかったです。道普請をやっている時はしんどかったけど歩いて達成感を感じれる世界遺産だなと思いました。すごい世界遺産なので大切にしていきたいと思いました。